

## ロケーションの撮影現場



TFCの初仕事は9月下旬。「北海道ロケーションサービス」から「札幌近郊で、ロケ地に適する古い木造校舎を探してほしい」との依頼があり、日本テレビ系列の番組「火曜サスペンス劇場 警部補 佃次郎 ⑩ 女の賭け」の舞台に

川下小を選び、町教委を通じて撮影の協力を同校に依頼しました。

あらずじは、刑事役の俳優・六平直政さんが、事件の当事者となる男女の関係を探るため、彼女が通っていた中学校を尋ね、当時の教諭から卒業アルバムや文集などを見せてもらいながら、その足取りをたどっていくというものでした。

撮影は、西当別中学校の生徒がエキストラとなり、川下小学校の教室・廊下・体育館・校庭で行われ、

タイムスケジュール通りに収録を終えました。

現場に到着したときの六平さんは、エキストラの生徒や川下小の児童らに元気な笑顔で「おはよう！」と挨拶。気さくな人柄が子供達に好印象を与えていました。

## 川下小児童の思い出に：

児童数の減少により、来年3月で閉校となる同小学校。児童が後方で静かに見守る中、撮影は淡々と進んでいきましたが、子供達にとってはかけがえのない、同校での「良い思い出」の一つになったと思われま

④川下小児童の感想文は「あえ〜る」にも展示されています。



## エキストラとして出演して…

西当別中学校2年生の感想



TFCでは、ロケのエキストラとして出演してもらうため、町教委を通じて西当別中学校に依頼しました。同校では希望者約80人の中から約40人を抽選、その中の3人(左から太田弥生さん・小林美寿々さん・浅野葉摘さん)は「俳優の六平さんが優しく、格好が良かった。どんな撮影機材を使っているのかが分かった。現場での緊張感がすごく伝わってきた。」と出演後の感想を話していました。



## まちの魅力の再発見

当別のフィルム・コミッションは、経済効果を期待しているだけでなく、「ふるさとに誇りを」という気持ちを持った人達で構成されています。

また、行政主導型ではなく、一般の人達が率先して活動しているTFCは、当別に在住している人々が「当別は素敵な町！」とPRし、まちの魅力を再発見しようという模索している姿が、他市町村のFCと異なっています。

町としては、ロケ撮影で生じる、法で規制される許認可の調整などで支援に努めてまいります。

TFCのメンバーの熱意・活動は今後、映像として映し出される「当別の魅力」をより引き出し、町内の方だけでなく町外の方々にも伝える一役を担うことでしょう…。



## エキストラと

### ロケ地の協力情報を募集

「当別 21 夢倶楽部フィルムコミッション (TFC)」では、エキストラとロケ地の協力情報を募集しています。

現在のエキストラ人数は、小学生から 80 代までの約 200 名で、撮影提供ができるロケ地としては約 20 件が登録しています。

#### エキストラの募集

ボランティアとして映画やドラマに出演したい方、撮影現場の雰囲気を経験したい方など、是非登録ください。(撮影者から依頼があった際、詳しい内容を連絡します。)

※ 18 歳未満の登録については、保護者の署名と捺印が必要です。

#### ロケ地の協力情報募集

観光名所だけではなく、商店街・工場・倉庫・住宅・病院・学校・農場など、あらゆる場所が対象となります。

当別を舞台に撮影する場合、どんな場所を使ったらよいかを推薦してください。

また、個人や企業の建物・土地・施設で、撮影提供できる場所があれば、登録願います。



#### ▼登録(推薦)方法

住所・氏名・性別・生年月日・郵便番号・電話番号(携帯含む)、またはファックス番号・メールアドレスを記入の上、TFCへ。(「あえ〜」でも申込み可。)

▼問合せ TFC (副代表=野口 千 061-0233 白樺町 59-12・☎ 3-2226) へ。

ホームページ=

<http://www.h5.dion.ne.jp/~tfc>

Eメール= [nkmo@eos.ocn.ne.jp](mailto:nkmo@eos.ocn.ne.jp)

[budounoki@h6.dion.ne.jp](mailto:budounoki@h6.dion.ne.jp)

### 「当別21夢倶楽部フィルムコミッション」(TFC)のスタッフ

※左から 山田智さん(春日町・TFC副会長)  
山下博正さん(弥生・同事務局長)  
野口和之さん(北栄町・同副会長)

中江ゆみ子さん(元町・同副会長)  
吉田綾子さん(末広・同事務局会計担当)



「TFCが設立されてから1年も過ぎていませんが、ドラマや商業シヤルなどの要請があれば迅速に対応するなど、本当に忙しいものでした。現在は、道内各地で開催されているFCに関するフォーラム・セミナーに参加しながら勉強をし続けていますが、今後も様々な知識を北海道ロケーションサービスから吸収し、基盤づくりに励んでいきたいです。3月には石狩市、4月には札幌市でもフィルムコミッションが設立されますが、TFCでは古い校舎や田園風景などを通じてロケーション撮影を積み重ね、実績を残していきたいと思っています。当別は歴史のある町。そして札幌に隣接しているので、古さと新しさの両面で、まちの良さをPRできると思います。同時に、美しいまちづくりを目指している「当別町の美しさ」も紹介していけたらと思います。人の手が加わっていないような森や川なども多いので、自然が豊富な点も前面に出していきたいですね。それから、町民の方々には一人でも多くエキストラとして参加していただき、ロケーション撮影を通じて、当別の良さを再発見してもらえたらと思います」なお、TFCでは現在、社会的信用・知名度アップなどのため、NPO(特定非営利団体)の法人格取得を検討しています。



まさあき  
平野正明さん  
(北海道ロケーションサービス)

「(TFCは)勉強熱心で、かつ民間中心でスムーズに立ち上げたことが素晴らしいと思います。

(川下小でのロケについて)学校の許可が下りるまでは時間がかかることが多いんですが、TFCには迅速・的確に対応してもらいました。依頼される撮影の場所や条件については、いつ・どんな問い合わせが入るのか分かりません。例えば坂道・町並み・さびれた場所など、制作会社は、インパクトのある撮影場所を望むことが多いんです。また、東京の制作会社はインターネット上で検索するので、写真の収集やホームページなどを活用したデータづくりで、情報発信などを進めてもらいたいです。またFCは現在、全国で約50ありますが、その機能・内容の質が問われてきています。北海道ロケーションサービスとしては、TFCと連携しながら北海道を少しでも多く映像として紹介できるよう努めていきたいです」